

大隅森林管理署交渉（全国林野関連労働組合大隅森林管理署分会）

議事要旨

1 日 時 平成27年12月16日（水） 17:30～18:30（60分）

2 場 所 大隅森林管理署 会議室

3 出席者 大隅森林管理署 山口 輝文 署長
同 中村 公治 次長

全国林野関連労働組合大隅森林管理署分会

同 寺田 雄一郎 執行委員長
同 宮崎 隆太 副委員長
同 歌野 昭彦 同

4 交渉事項

- (1) 空席ポストに伴う要員確保について
- (2) 業務運営における労働条件等の改善について

5 議事概要

- (1) 空席ポストに伴う要員確保について

組合） 署内では事務管理官が1名、森林整備官が1名それぞれ減となっている。年々職員数が減少しているが、今後も現在の職員数であれば労働過重となり業務に支障を来すと考えるので要員確保をお願いします。

当局） 職員の皆様には数少ない要員の中で、各業務が遅れることなく推移していることに感謝したい。職員数が不足している状況にあり弊害が全く無いとは言えない。非常勤職員（臨時）の雇用を確保しながら対応しているところであり、今後も雇用予算の確保に努めるとともに最低限の要員、ポスト確保について上部に伝え労働過重の軽減を図って参りたい。

- (2) 業務運営における労働条件等の改善について

組合） 生産請負の予定箇所を選定するに当たって、現地と森林調査簿のデータに乖離がある。調査簿ではスギ・ヒノキが70%であっても実際は50%以下の場合が多く、年間計画と実行予定段階での差があり、年間事業量確保に苦慮している。

職員の労働条件に影響することから、森林調査簿データの整備をする等改善をお願いしたい。

当局) 現地と調査簿に乖離があることは認識している。このため調査簿の修正を行う必要があり、森林官へ指導をしているところである。

次期計画からは主伐が増えることとなるため、署内で十分に打ち合わせて、業務量の平準化を図る等、労働条件の改善を図って参りたい。

組合) 安全及び業務量を確保するために、林道修理や改良工事に係る予算の確保が必要である。特に当署管内は雨が多く災害が発生しやすい状況にあり、林道等が通れなければ安全上問題があり、事業がストップしてしまうため予算の確保をお願いします。

当局) 当署管内は雨が多く災害が発生しやすい状況にあることは認識している。

林道等の災害が発生した場合には、通行時の安全確保と事業計画に影響を来すことが無いよう必要な改良工事や災害復旧予算の確保に努めて参りたい。